

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 31週 > 咽頭結膜熱 - 定点当たり報告数は微減したが、過去10年間の同時期と比較して本年16週以降最高の値で推移している / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4-6

< 無菌性髄膜炎 > 第27週頃より報告数が増加し、第30週で減少したものの第31週にはまた上昇に転じた
< 咽頭結膜熱 > 定点当たり報告数は第30週になり減少し、第31週もわずかに減少した
< 手足口病 > 定点当たり報告数は第25週から急峻な立ち上がりを見せていたが、第30週、31週と減少した



病原体情報
P.7-8

患者から分離・検出された病原体報告 - ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス



速報
P.9-10

A群コクサッキーウイルス10型およびエコーウイルス30型の分離 - 札幌市 / 無菌性髄膜炎患者からのエコーウイルス30型の分離状況 - 奈良県



海外感染症情報
P.11-12

ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 2003年8月14日現在 / ニューヨーク市で腺ペスト患者が発生 - ニューメキシコからの輸入例、2002年 / インドのAndhra Pradesh州での脳炎の流行



感染症の話
P.13

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
P.14



グラフ総覧(31週)
P.15-21



31週のデータ
P.22-30



発生動向総覧

第31週コメント 8月7日集計分

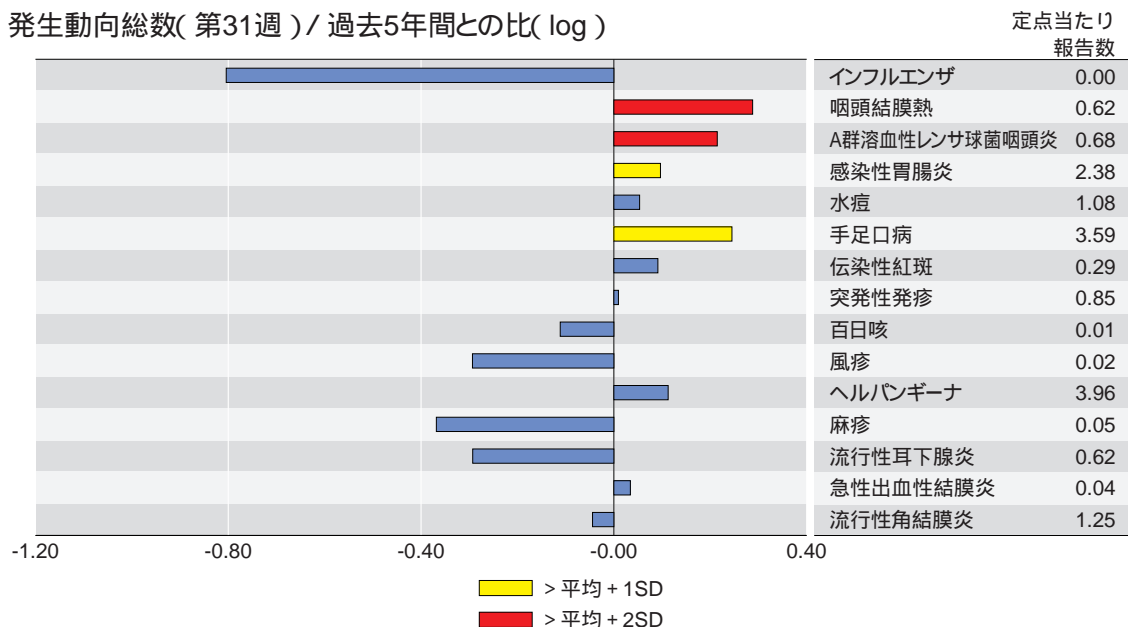
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢7例(推定感染地域: 国内4例、インド2例、メキシコ1例)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症89例(うち有症者44例)
 報告の多い都道府県: 大阪府16例、兵庫県15例、佐賀県9例
 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(38例)、O157 VT2(22例)、O26 VT1(8例)
 その他(21例)
 年齢: 10歳未満(36例)、10代(14例)、20代(11例)、30代(6例)、40代(10例)、50代(5例)、60代(5例)、70歳以上(2例)
 - 4類感染症: アメーバ赤痢7例(推定感染地域: 国内5例、不明2例)、エキノкокス症1例(多包条虫)、クロイツフェルト・ヤコブ病4例(孤発性3例、GSS 1例)、ジアルジア症1例(推定感染地域: 国内)、ツツガムシ病1例、デング熱1例(推定感染地域: インドネシア)、梅毒10例(早期顕症4例、晩期顕症1例、無症候5例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(菌検出検体: 便、遺伝子型: Van A)、ライム病2例、レジオネラ症4例
 後天性免疫不全症候群4例(AIDS 1例、無症候3例)
 推定感染経路: 性的接触3例(いずれも同性間)、不明1例
 推定感染地域: 国内2例、不明2例
- (補)他に梅毒1例の報告があったが、報告基準を満たさず削除予定。

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、また、過去10年間の同時期と比較して本年16週以降最高の値で推移している。都道府県別では大分県(2.5)、長野県(1.9)、兵庫県(1.2)、高知県(1.2)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は8週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、また、過去10年間の同時期と比較して27週以降最高の値となっている。都道府県別では山形県(1.5)、鳥取県(1.4)、山口県(1.4)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では鳥取県(5.8)、宮崎県(5.2)、福井県(4.9)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では山口県(10.9)、愛媛県(9.2)、広島県(8.2)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少して0.19で、過去4年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では愛知県(0.9)、秋田県(0.7)、三重県(0.7)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週まで3週連続で減少していたが、再び増加し、都道府県別では北海道(1.0)、宮城県(1.0)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、都道府県別では宮城県(9.1)、山形県(8.5)が多い。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は増加して0.20で、都道府県別では奈良県(1.3)、大阪府(1.1)、高知県(1.0)が多い。

発生動向総数(第31週)/過去5年間との比(log)

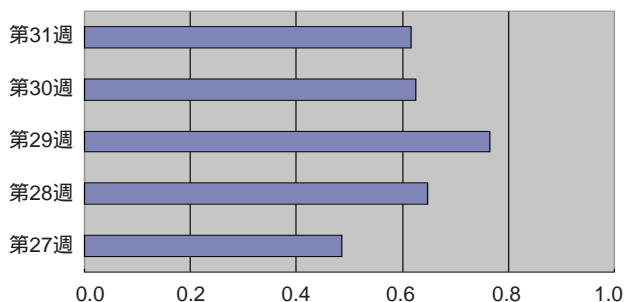


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

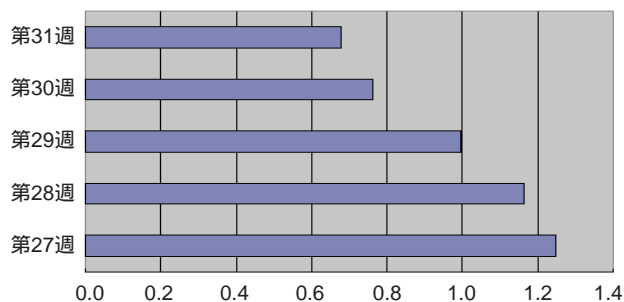
最近の注目疾患－5週間の動き

伝染性紅斑、無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は前週に比べて増加した。咽頭結膜熱(微減)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、ヘルパンギーナの定点当たり報告数は前週に比べて減少した。

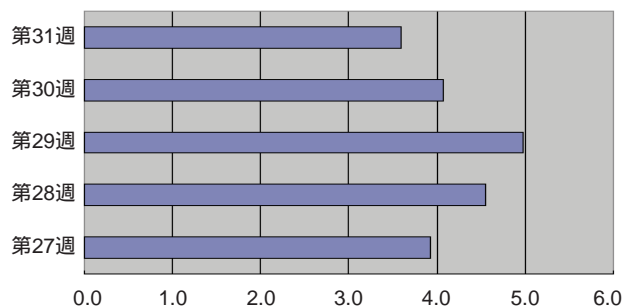
咽頭結膜熱



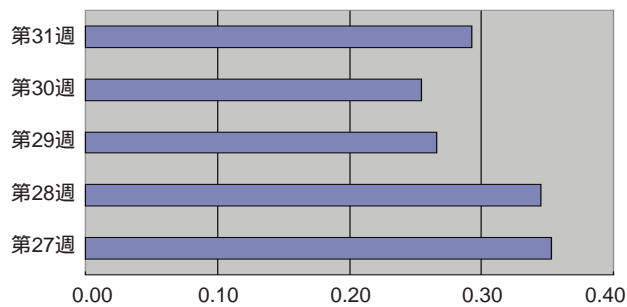
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



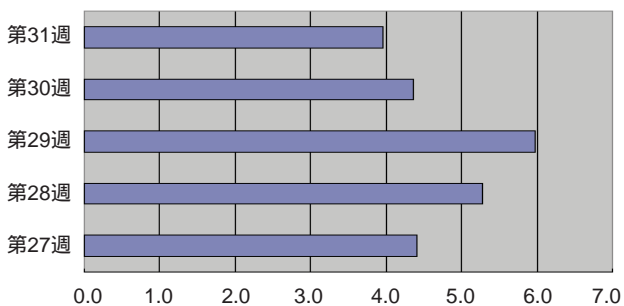
手足口病



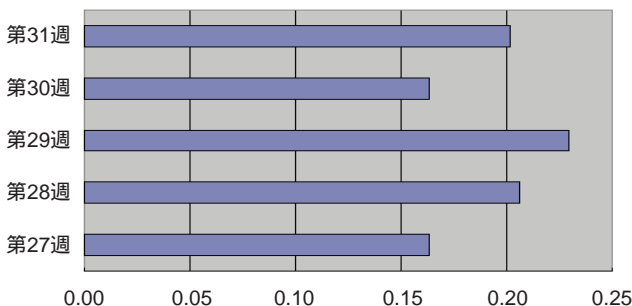
伝染性紅斑



ヘルパンギーナ



無菌性髄膜炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

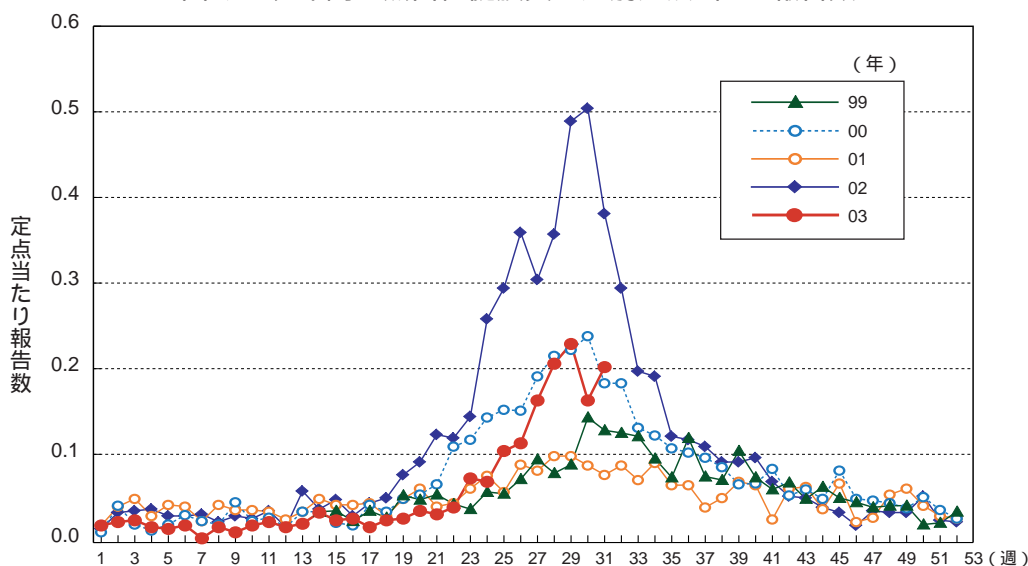


注目すべき感染症

無菌性髄膜炎

無菌性髄膜炎は全国約500の基幹定点医療機関から報告される疾患である。エンテロウイルスが原因の多くを占め、例年、夏季を中心に感染者が増加する。今年は定点当たり報告数は第27週頃から第29週にかけて増加しており、第30週になり減少に転じたものの、第31週にはまた上昇に転じた(図)。昨年はエコーウイルス13型(E13)による流行がみられたが、今年はこれまでにE30を主体に、エンテロウイルス71型を含む様々な種類のウイルスが分離されている。手足口病、ヘルパンギーナなどのエンテロウイルス感染症が流行している時期であり、発生動向を注視する必要がある。

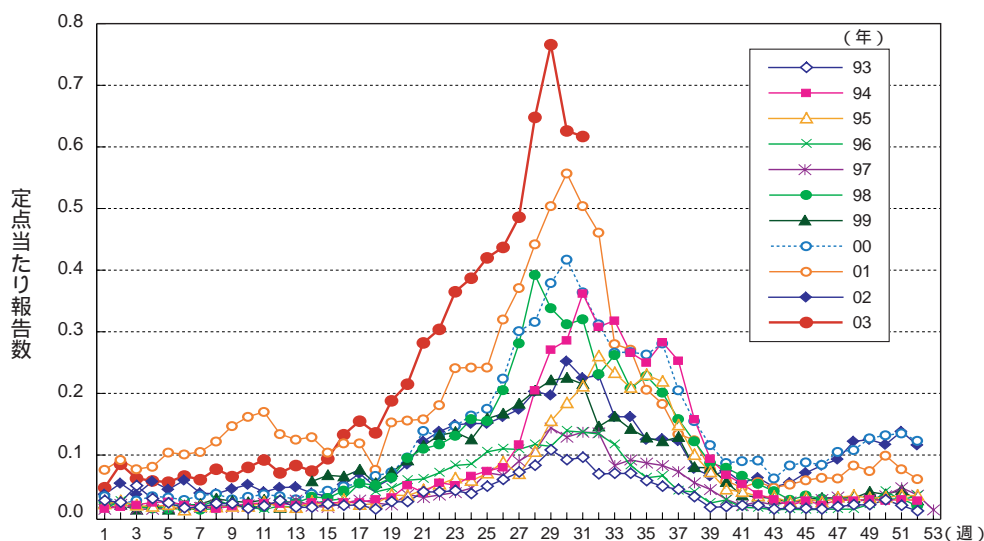
図. 過去4年間の無菌性髄膜炎の週別定点当たり報告数



咽頭結膜熱

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は例年よりかなり多い状態で推移していたが、第30週になり減少し、第31週でもわずかに減少した(0.63→0.62)(図)。報告が多かったのは大分県2.5、長野県1.9、高知県1.2、兵庫県1.2などであるが、前週に比べると減少している都道府県が多い。現在までに咽頭結膜熱患者から分離されている病原体は、アデノウイルス3型、2型が主である。1996～98年に増加して、肺炎などの重症例・死亡例が発生した7型も分離されている。

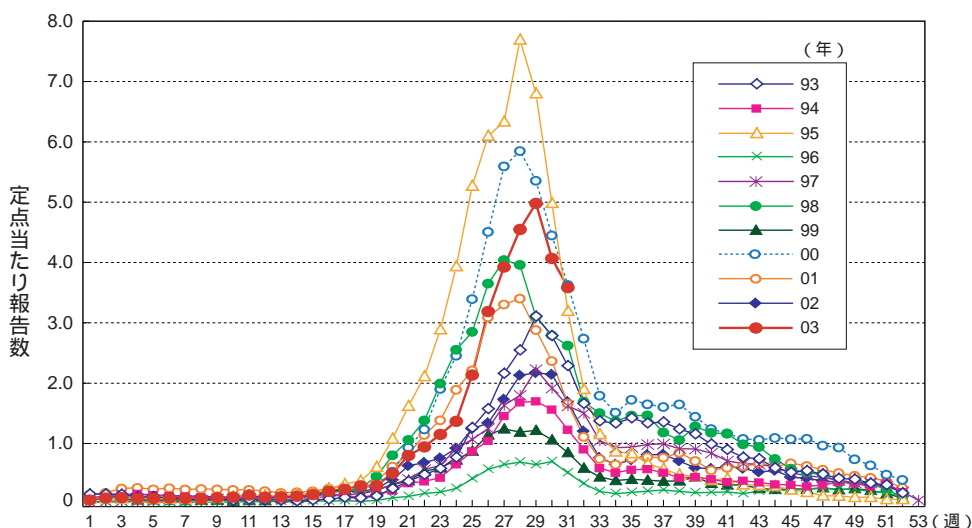
図. 過去10年間の咽頭結膜熱の週別定点当たり報告数



手足口病

1985年、1990年、1995年、2000年と5年おきに比較的大きな流行がみられている。今年は例年並みに推移してきたが、第25週から定点当たり報告数は急峻な立ち上がりを見せており、1995年、2000年に次いで報告数が多くなっていた。しかし、第30週になり減少に転じ、第31週では更に報告数は減少した(図)。都道府県別では多い順に山口県(10.9)、愛媛県(9.2)、広島県(8.2)などである。地研からのウイルス検出報告では、2001年、2002年にはCA16が大部分を占めていたが、本年はこれまでEV71が多く分離されており、すでに重症化例の発生も報告されているので(<http://idsc.nih.go.jp/rapid/pr2837.html>) 依然監視が必要である。

図. 過去10年間の手足口病の週別定点当たり報告数





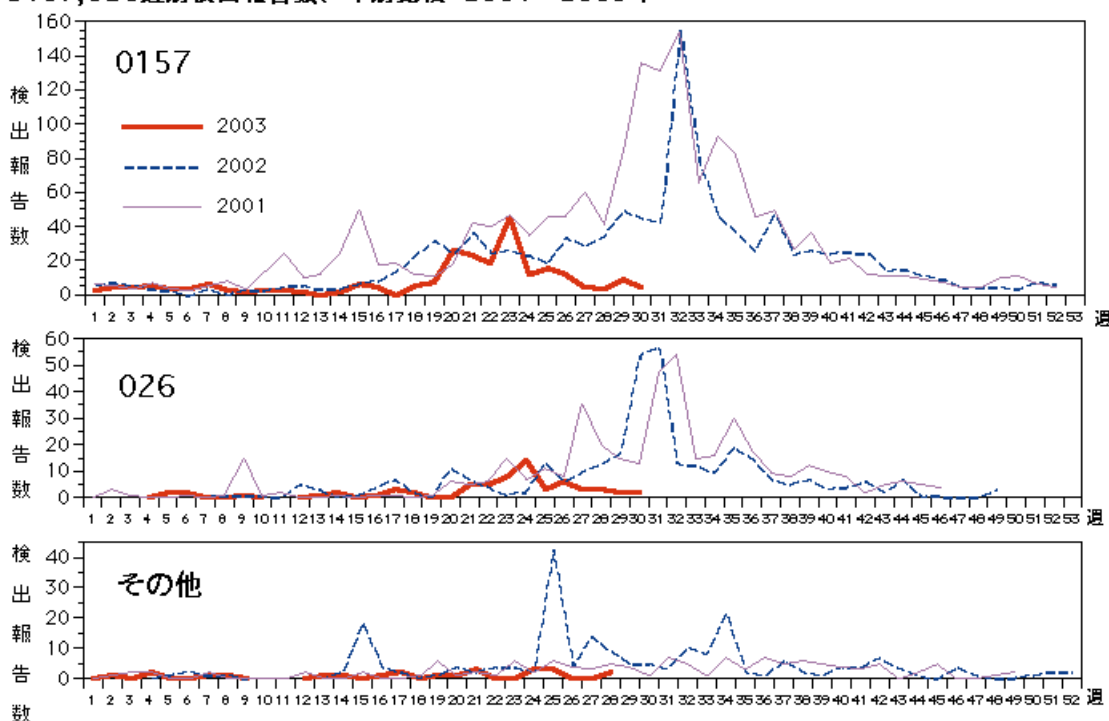
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2003年8月8日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2003年

検出総数は318件で、うちO157が230件、O26が65件、その他の血清型が23件報告されている。O157は、第20、21週に岐阜県の学生寮における集団発生事例より15件(VT2)、第22～25週に岐阜県の保育所における集団発生事例から43件(VT1&2)報告され、検出数が増加している。O26は、第23、24週に秋田県の小学校における集団発生事例から10件(VT1)の報告があり、検出数が増加している。

O157,O26週別検出報告数、年別比較 2001～2003年 (病原微生物検出情報: 2003年8月8日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

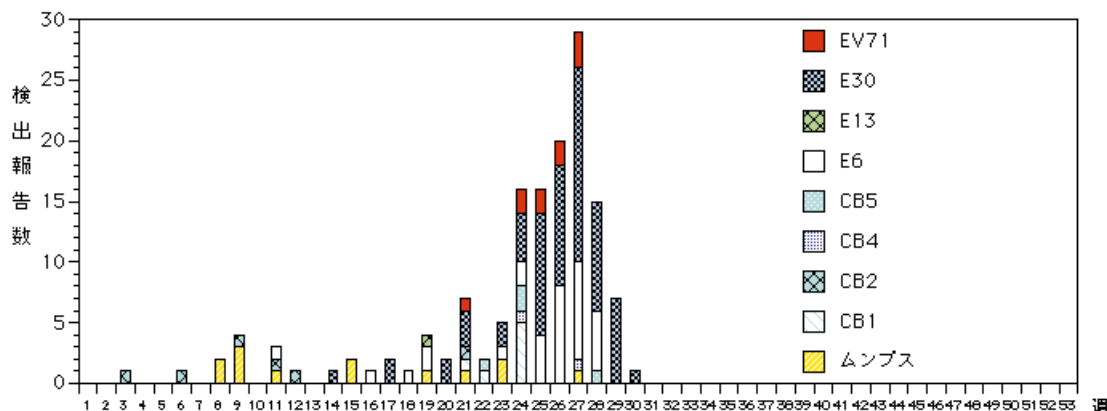


Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2003年

エンテロウイルス71型(EV71)が10件(広島県5、青森県2、浜松市2、川崎市1)、エコーウイルス(E)が111件(30型67、6型33、18型7、9型2、7型1、13型1)報告されている。E30は、第14週に大阪府および第17週に札幌市(本号速報記事参照)で散発例からの検出が報告されたが、第20週以降近畿地方を中心に検出が増加し、大阪府10、堺市10、奈良県9(本号速報記事参照)、神戸市8、広島市8などから報告されている。E6は第25週以降に検出が増加し始め、大阪府15(大阪市6、堺市5、大阪府4)と新潟県11などを中心に報告されている。その他、B群コクサッキーウイルスが20件(1型7、2型6、5型4、4型2、3型1)、ムンプスウイルスが13件(愛知県3、広島県3など)報告されている。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離報告数、2003年(病原微生物検出情報: 2003年8月8日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2003年

A群コクサッキーウイルス(CA)が114件(10型50、6型23、4型22、2型14、12型3、16型2)報告されている。CA10は奈良県14、大阪府11、島根県9など、CA6は愛知県8、京都市6、奈良県4など、CA4は秋田県13、滋賀県3、高知県3など、CA2は三重県10などから報告されており、地域によって分離されている型に差がみられている。この他にB群コクサッキーウイルスが4件(5型2、1型1、3型1)、エコーウイルス30型が大阪府から5件報告されている。



A群コクサッキーウイルス10型およびエコーウイルス30型の分離 - 札幌市

2003年4～7月の期間に、札幌市の感染症発生動向調査事業における検査定点医療機関から搬入された急性上気道炎患者の咽頭ぬぐい液4検体から、A群コクサッキーウイルス10型(CA10)が分離された。また、無菌性髄膜炎と診断された患者3名および急性上気道炎と診断された患者2名の咽頭ぬぐい液5検体、無菌性髄膜炎と診断された患者1名の髄液および鼻汁からエコーウイルス30型(E30)が分離された。現在、さらに無菌性髄膜炎患者7名の髄液について検査中である。

ウイルス分離にはRD-18S、Vero、KB細胞を用い、すべてRD-18S細胞により分離された。中和試験は、国立感染症研究所から分与されたエコーウイルスプール抗血清(EP-95)および単味抗血清、デンカ生研製エンテロウイルス混合抗血清および単味抗血清を用いて行った。

これまで札幌市ではエンテロウイルスの大規模な流行はなかったが、市内医療機関(小児科)からは、6月中旬以降、例年に比べ無菌性髄膜炎の患者が多いとの情報があり、今後の動向に注意が必要である。

札幌市衛生研究所

菊地正幸 宮北佳恵 土屋英保 大谷倫子 藤田晃三

市立札幌病院

富樫武弘

無菌性髄膜炎患者からのエコーウイルス30型の分離状況 - 奈良県

今シーズンの無菌性髄膜炎患者は第19週目(5月7日、2名)を初発とし、その後散発的にみられ、7月(第27週)に入り急激な増加傾向が観察されている。初めてのウイルス分離は5月23日に発症した12歳・男子(五条市)の咽頭ぬぐい液からで、RD-18SおよびHEp-2細胞でCPEが確認された。その後、単味およびプール血清(デンカ生研)による中和試験を行い、エコーウイルス30型と同定した。現在までに無菌性髄膜炎と診断された患者からのウイルス分離状況は、エコーウイルス30型16例、エコーウイルス6型2例、アデノウイルス3型2例、およびB群コクサッキーウイルス4型1例と多種にわたるが、7月以降の急激な増加の原因ウイルスは全てがエコーウイルス30型であった。

エコーウイルス30型が分離された患者は3～12歳児(男13、女3)で、臨床症状は発熱、嘔吐、嘔気、頭痛などである。患者発生地域は北和地区(斑鳩町、平群町、奈良市)に多い傾向がみられるが、中和および南和地区でも散発的に発生が観察されている。また、エコーウイルス30型が分離された材料は咽頭ぬぐい液(9例)が最も多く、次いで糞便(6例)、髄液(1例)であった。本県でのエコーウイルス30型による無菌性髄膜炎の流行は、1993年、1997年以来である。

奈良県保健環境研究センター

北堀吉映 中野 守 井上ゆみ子 立本行江 足立 修



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 2003年8月14日現在

州	ヒト患者数	死亡者数
アラバマ	10	2
アーカンソー	1	
コロラド	247	6
フロリダ	4	
ジョージア	1	
アイオワ	4	
カンザス	1	
ケンタッキー	3	
ルイジアナ	21	
ミネソタ	7	
ミシシッピ	14	
ミズーリ	1	
ネブラスカ	6	
ニューメキシコ	3	
ノースダコタ	6	
オハイオ	7	
オクラホマ	2	
ペンシルバニア	12	
サウスカロライナ	1	
サウスダコタ	51	
テキサス	39	2
バージニア	1	
ウィスコンシン	1	
ワイオミング	3	
合 計	446	10

(米国CDCホームページ<http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/index.htm>より)

ニューヨーク市で腺ペスト患者が発生 - ニューメキシコからの輸入例、2002年

CDC MMWR 2003年8月8日 Vol. 52 No. 31

2002年11月1日、ニューメキシコのサンタフェ郡からニューヨーク市へ旅行中の夫婦が、ニューヨーク市で夫婦ともに発熱と片側の鼠径部リンパ節腫脹を呈し、腺ペストと診断された。この報告は臨床症状と公衆衛生学的調査結果を要約し、また、テロの可能性のある病原体に感染した患者が医療機関を受診した場合の、医療関係者、公衆衛生当局と国民の間でのコミュニケーションと迅速な診断の重要性を強調する。

症例報告:

[症例1] 11月5日、53歳男性がニューヨーク市の救急部を受診した。この患者は、ニューメキシコと滞在先のホテルで医師の診察を受けていた。この患者は2日間続く発熱、疲労感、片側の有痛性鼠径リンパ節腫脹を訴えた。理学的所見として発汗、悪寒、下肢のチアノーゼが見られ、体温は40.2、血圧78/50mmHg、room airでの酸素飽和度は98%であった。圧痛を伴う腫脹した左鼠径リンパ節とその周囲の浮腫を認めた。白血球数は24,700/ μ L、血小板数は72,000/ μ Lで

あった。血液培養でペスト菌が陽性であった。11月6日、ニューヨーク市公衆衛生研究所による検査の結果、培養で得られたペスト菌のF抗原に対する直接蛍光抗体法およびPCR検査で共に陽性であった。

この患者にはゲンタマイシン、ドキシサイクリン、シプロフロキサシン、バンコマイシン、活性化プロテインCが投与された。患者の状況は増悪し、敗血症ペスト、急性腎不全、急性呼吸促進症候群、DICの診断でICUに収容された。血液透析と人工呼吸が行われ、虚血のため両側足部切断が行なわれた。6週間のICUでの治療により回復し、長期ケアリハビリテーション施設に収容された。

[症例2] 症例1の妻(47歳)が11月3日に発症した。11月5日に発熱、疲労感、筋肉痛、片側の鼠径部リンパ節腫脹のため医療機関を受診した。理学所見では、紅斑と硬結を伴う右鼠径および大腿リンパ節の腫大が認められた。体温39℃、血圧120/72mmHg、酸素飽和度はroom airで98%であった。白血球数は9,500/ μ L、血小板数は189,000/ μ Lであった。鼠径リンパ節の吸引からは検体が得られなかった。臨床症状と、夫の血液培養でペスト菌が得られたことから、腺ペストの仮診断が下された。この患者は入院し、ゲンタマイシン、ドキシサイクリン、チカルシリン-クラプラ酸で治療が行われ、血液培養の結果は陰性であり、その後14日間ドキシサイクリン100mgを1日2回投与された。11月5日と12月26日に採取された急性期と回復期のペア血清により、*Y. pestis* F1抗原に対して特異抗体の4倍の上昇がみられ、腺ペストの診断が確定した。この患者は合併症を伴うことなく回復した。

公衆衛生対策:

ニューメキシコ州保健局が実施した定期サーベイランスにより、この夫婦のニューメキシコの所有地で死亡していた森ネズミとノミからペスト菌が同定されており、夫婦は初診時にこのことを医師に告げた。このホテルドクターは救急部に対し、ペスト疑い患者2名が受診することと、空気感染が除外されるまで空気感染に対する隔離が必要であることを伝えた。適切な院内感染予防と教育のため、院内感染対策と事務の担当者に連絡がとられた。検査実施と公衆衛生対策の調整とテロの可能性の評価のため、ニューヨーク市保健精神衛生局(NYCDOHMH)、ニューメキシコ州保健局、ニューメキシコ州保健局、CDCに連絡がとられた。この2例のペスト患者が自然界での感染であることが明らかになり、プレスカンファレンスにて、感染はニューヨーク市ではなく、ペストが常在するニューメキシコでの曝露によることが発表された。

インドのAndhra Pradesh州での脳炎の流行

CDC Travel-Outbreak 2003年8月8日

CDCが支援している旅行医学・熱帯医学の国際的なネットワークであるGeoSentinelによると、Andhra Pradeshで脳炎が流行している。6月1日～7月24日の間に279名の患者が発生し、154名が死亡した。死亡者は全て2～21歳の若年層であった。流行の病因は不明である。インド政府による60検体の予備的検査結果によると、3検体で流行の病因が日本脳炎であることが示唆された。インドでの追加検査の結果、別のウイルスが病因である可能性も示されている。確定検査の結果が求められている。流行は当初Andhra Pradesh州の村の貧困な住民の間で発生した。地方政府は蚊の対策を開始した。



感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。



読者のコーナー

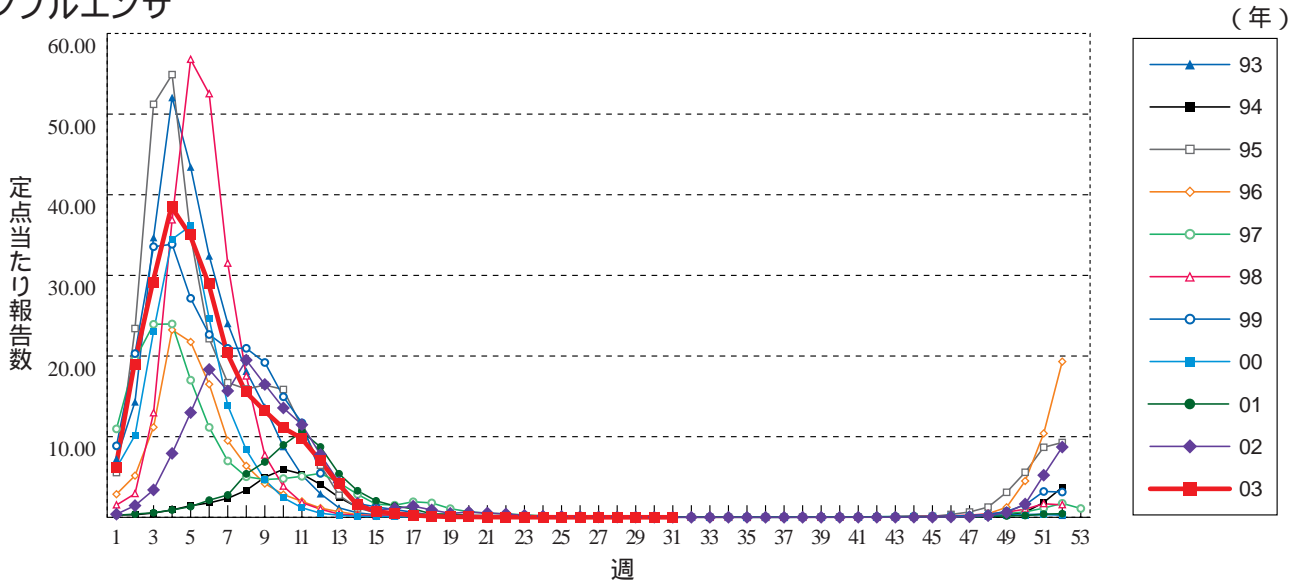
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

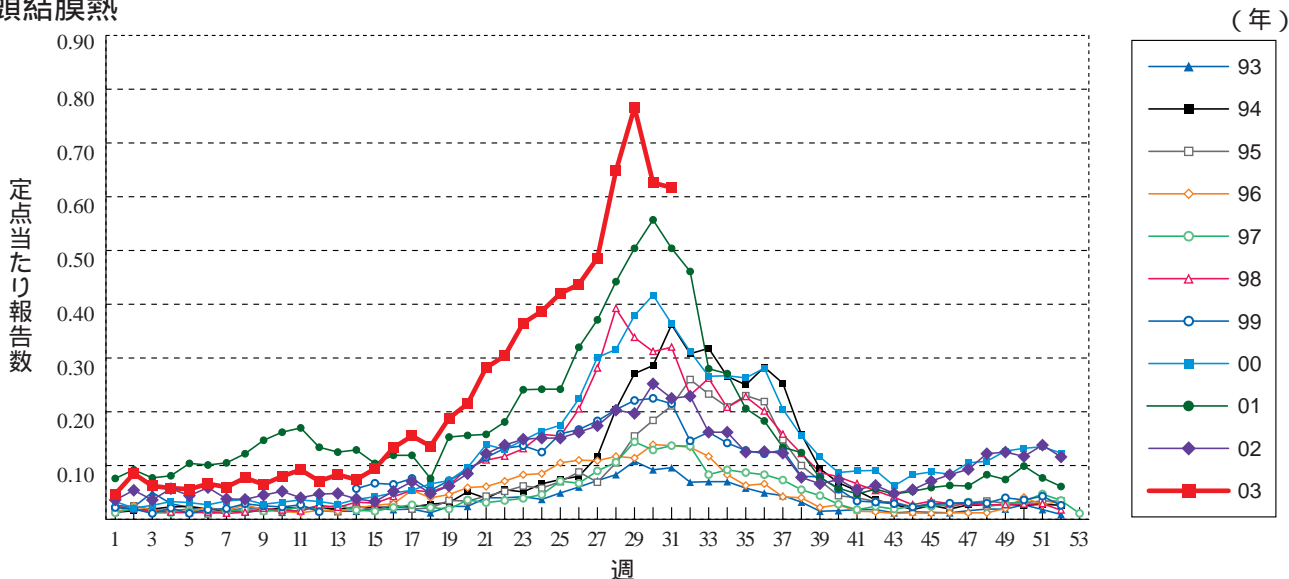


グラフ総覧(31週)

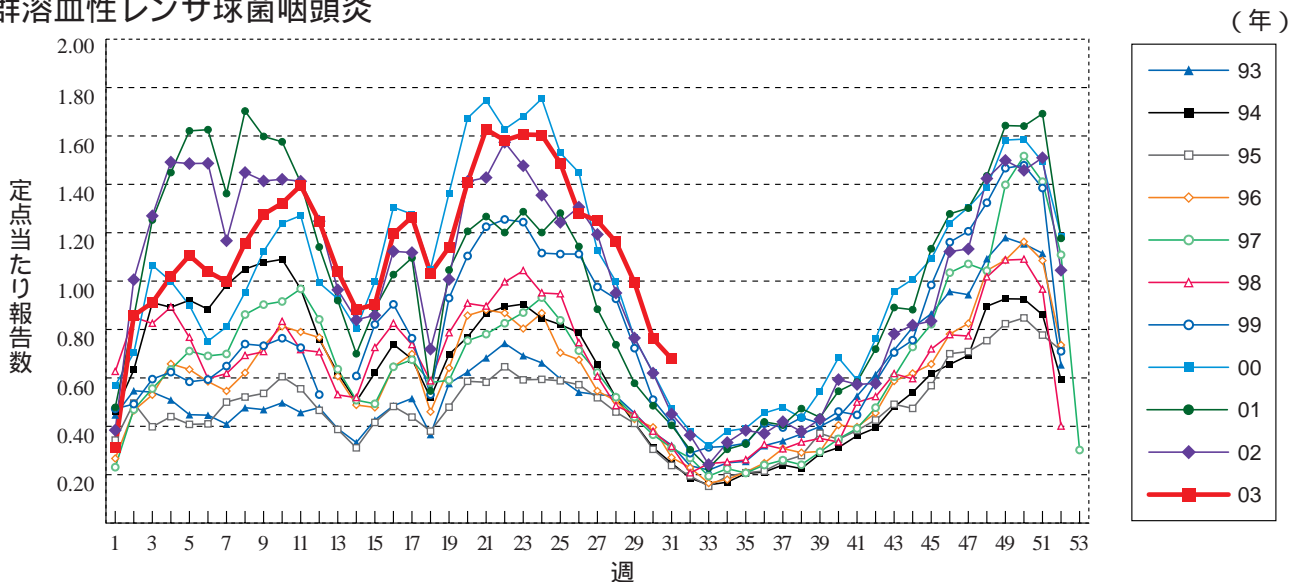
インフルエンザ



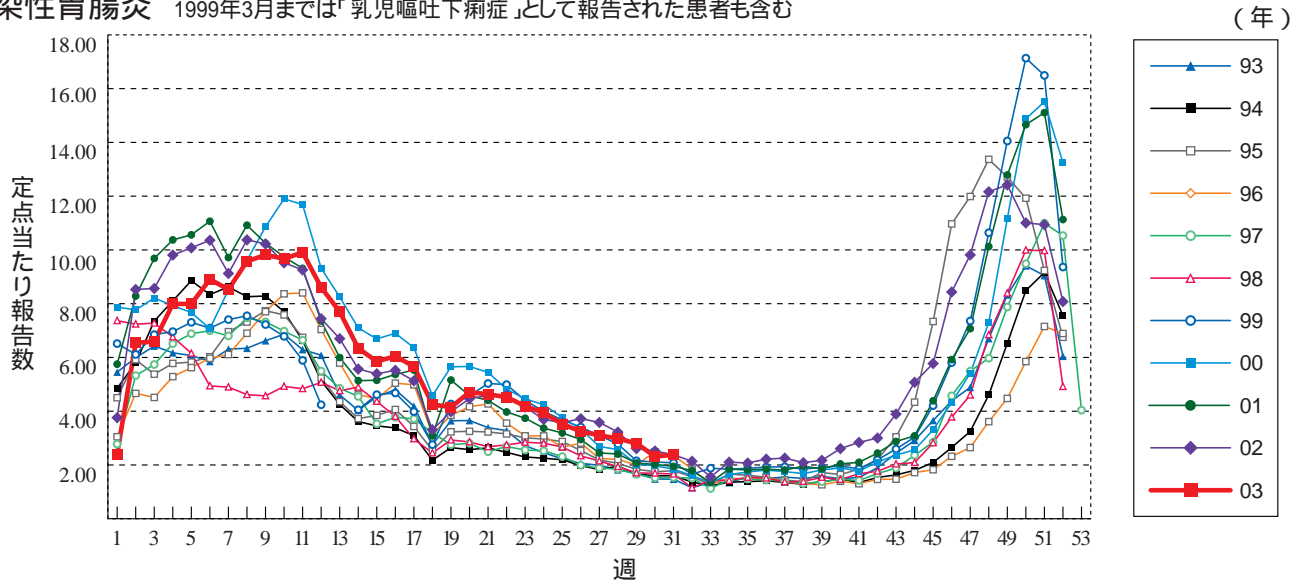
咽頭結膜熱



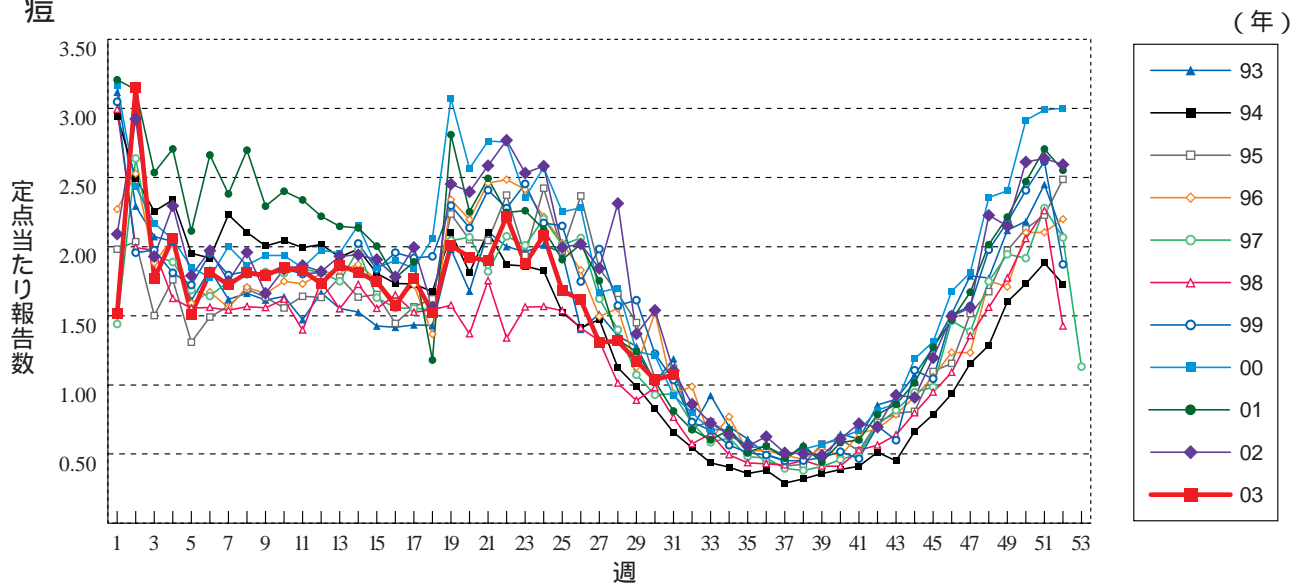
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



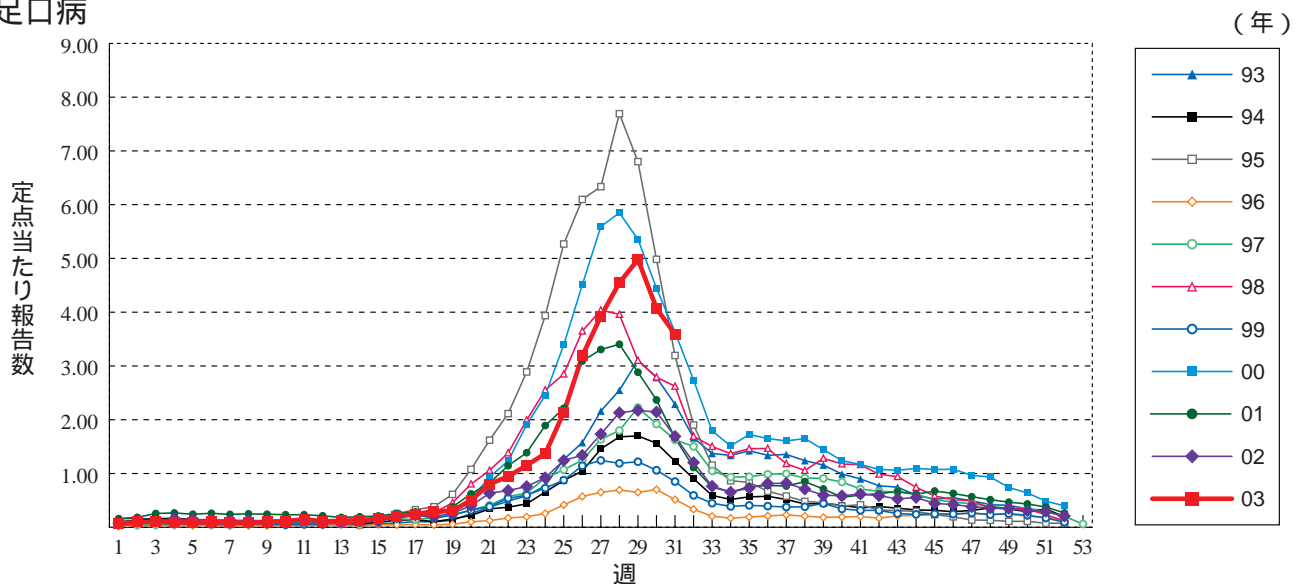
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



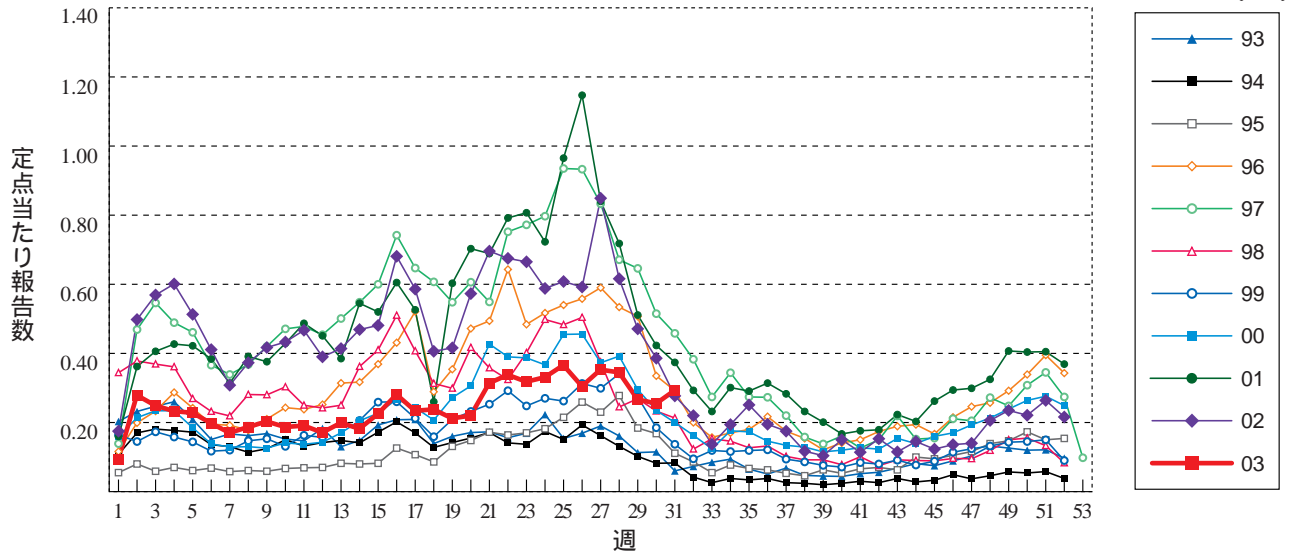
水痘



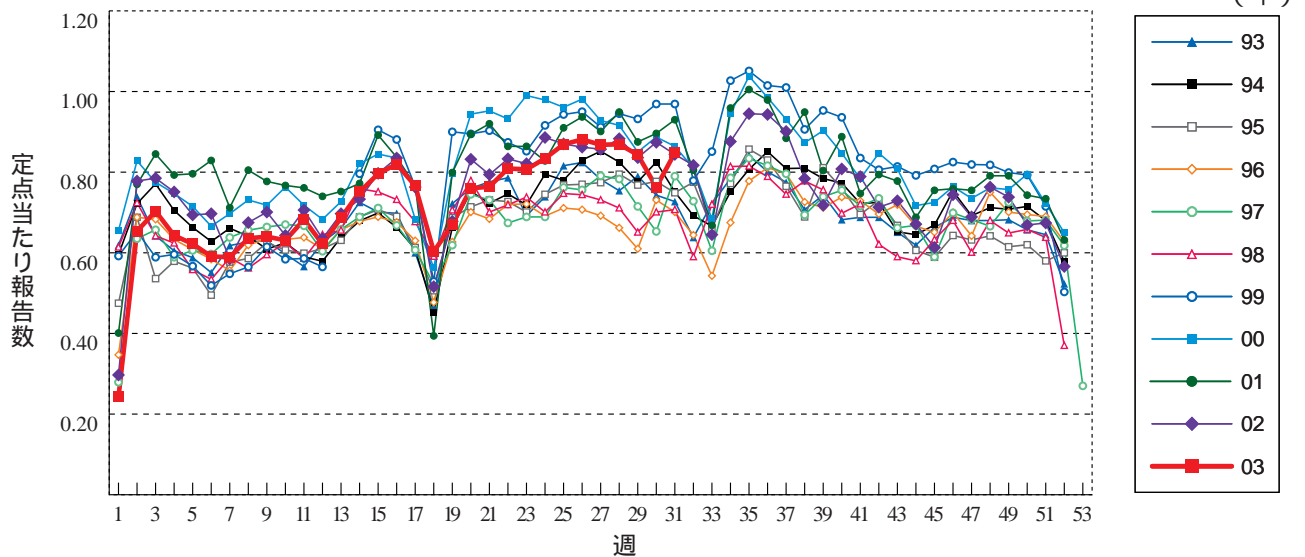
手足口病



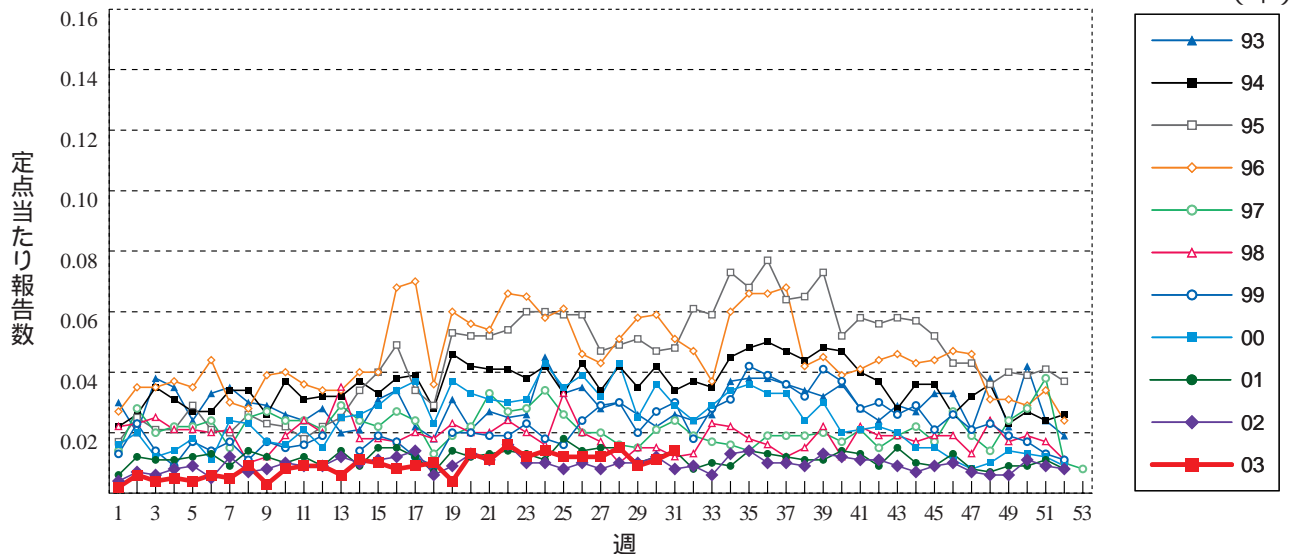
伝染性紅斑



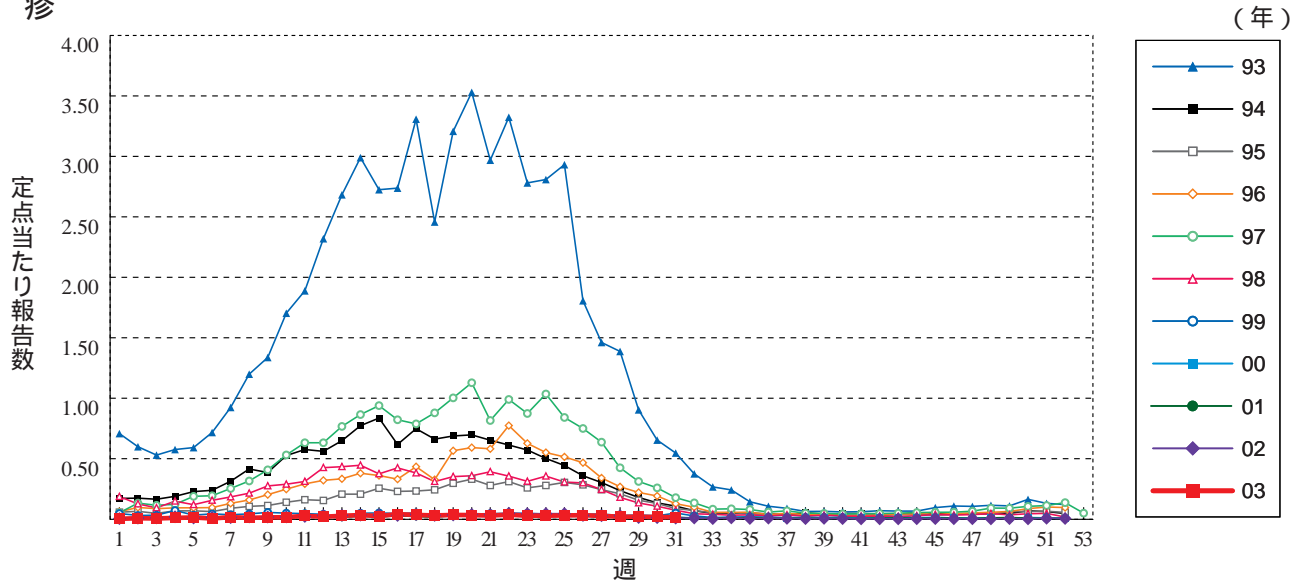
突発性発疹



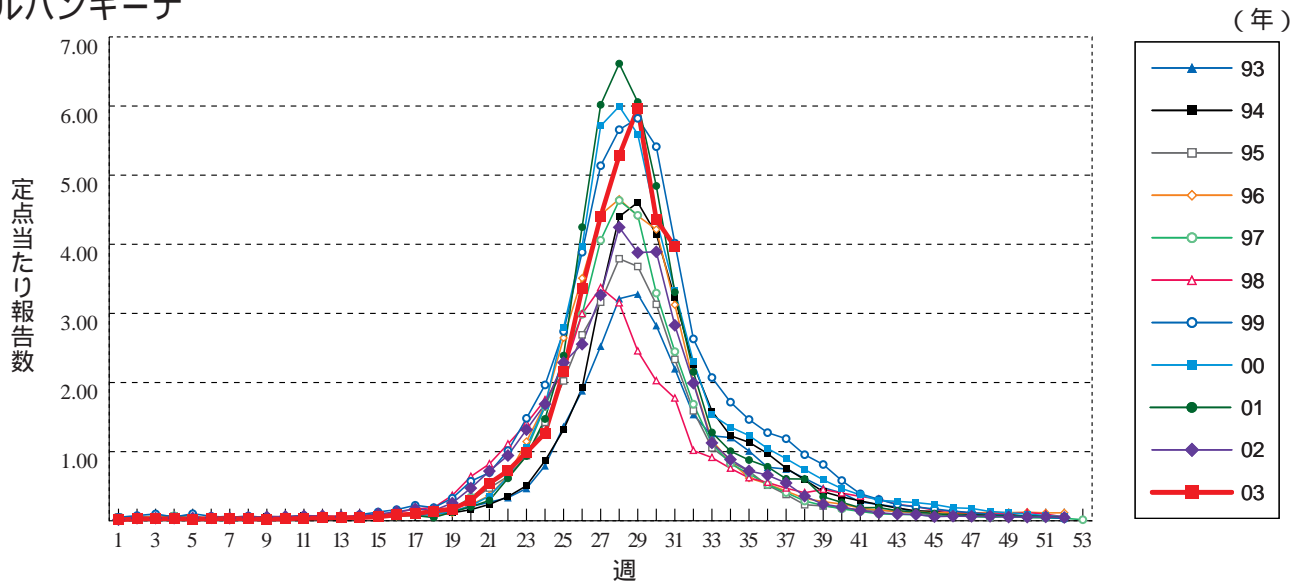
百日咳



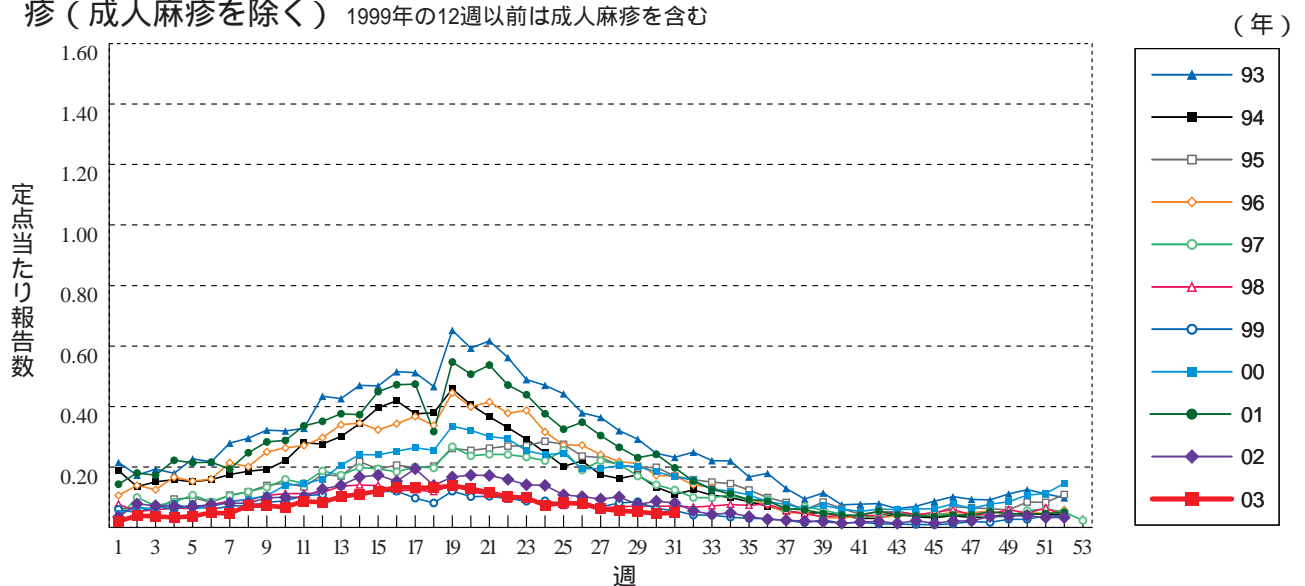
風 疹



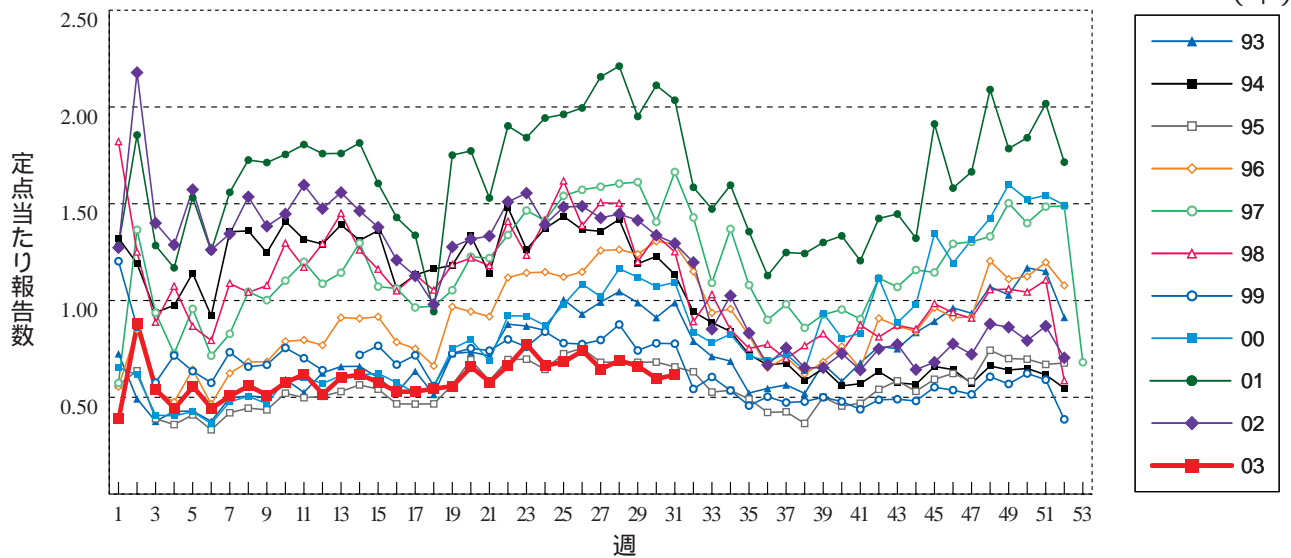
ヘルパンギーナ



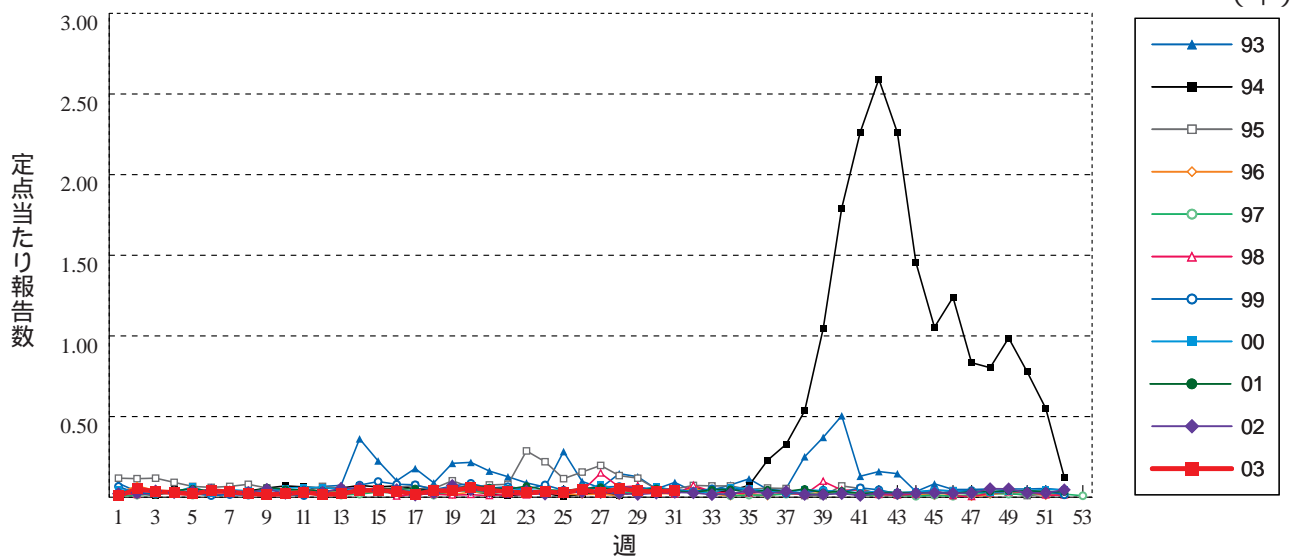
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



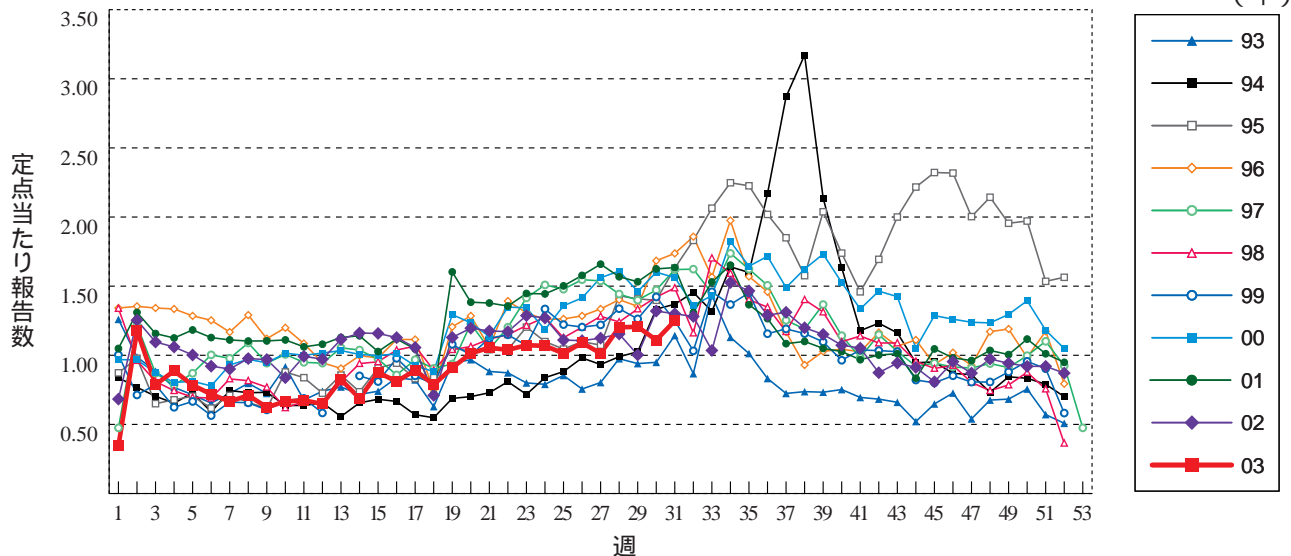
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

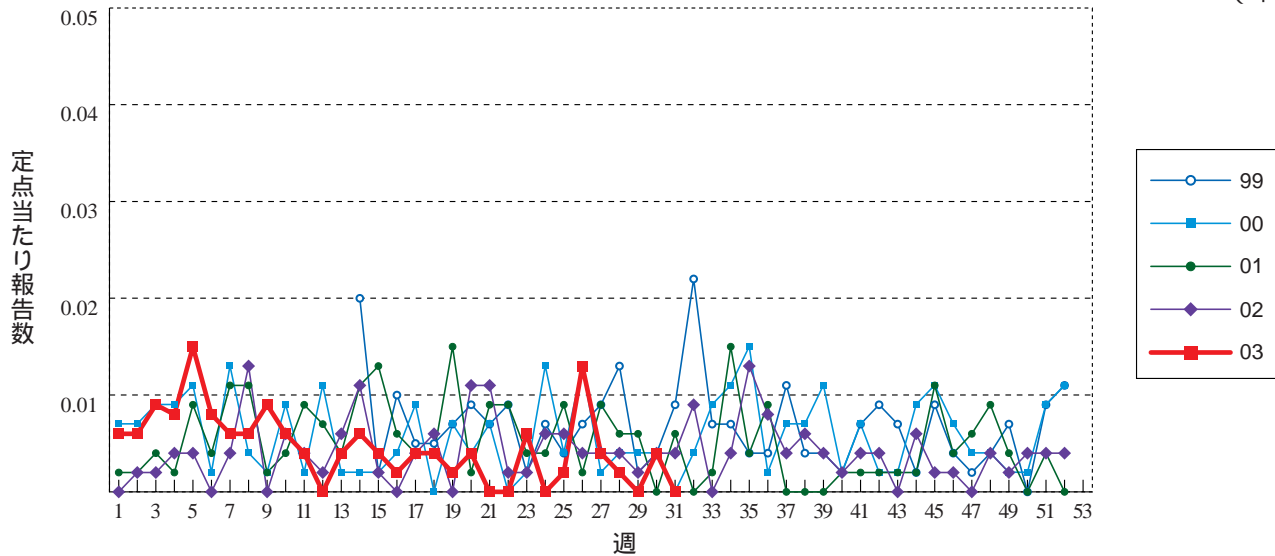


流行性角結膜炎



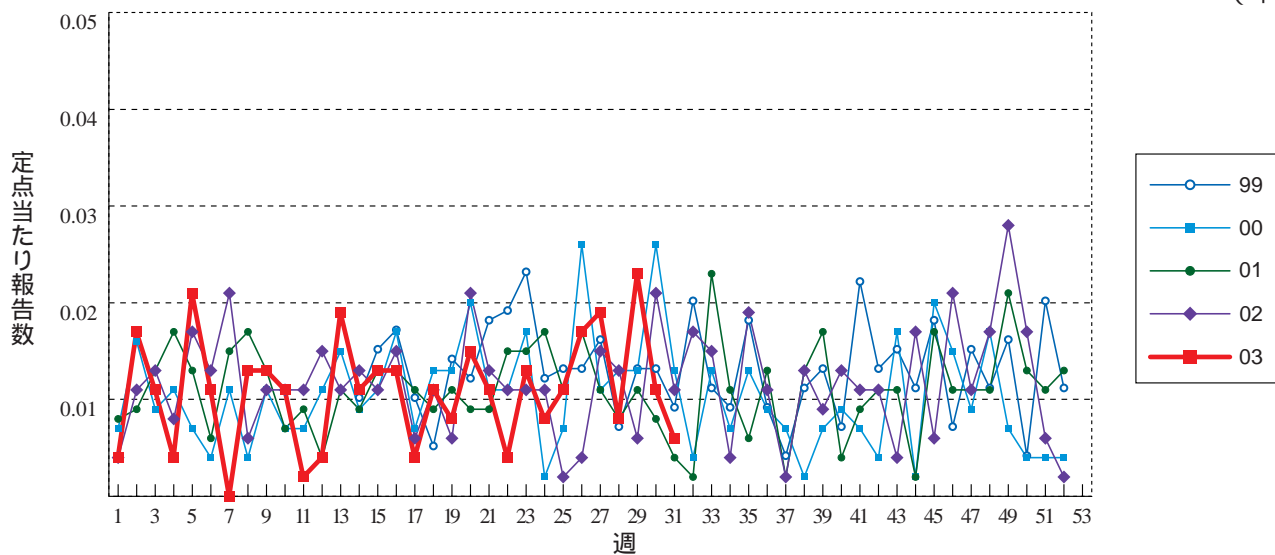
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



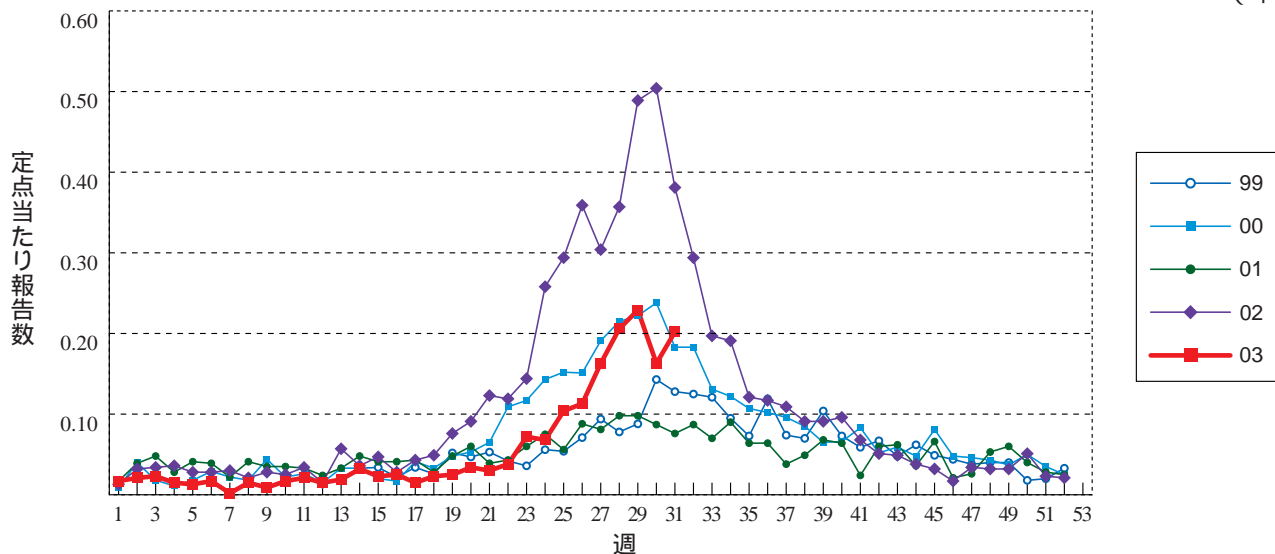
細菌性髄膜炎

(年)



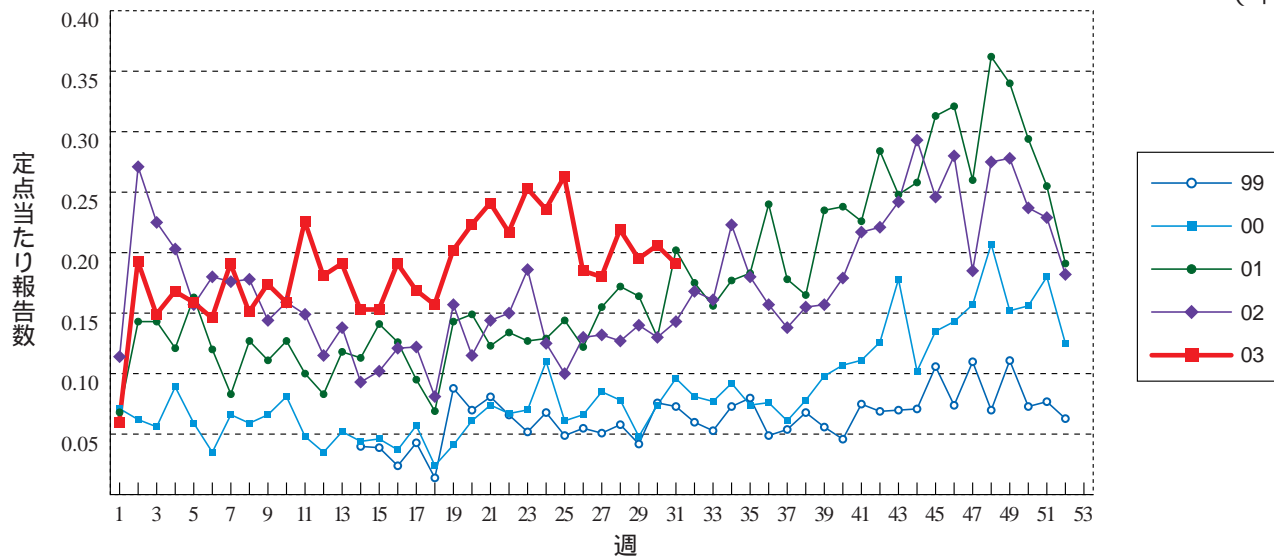
無菌性髄膜炎

(年)



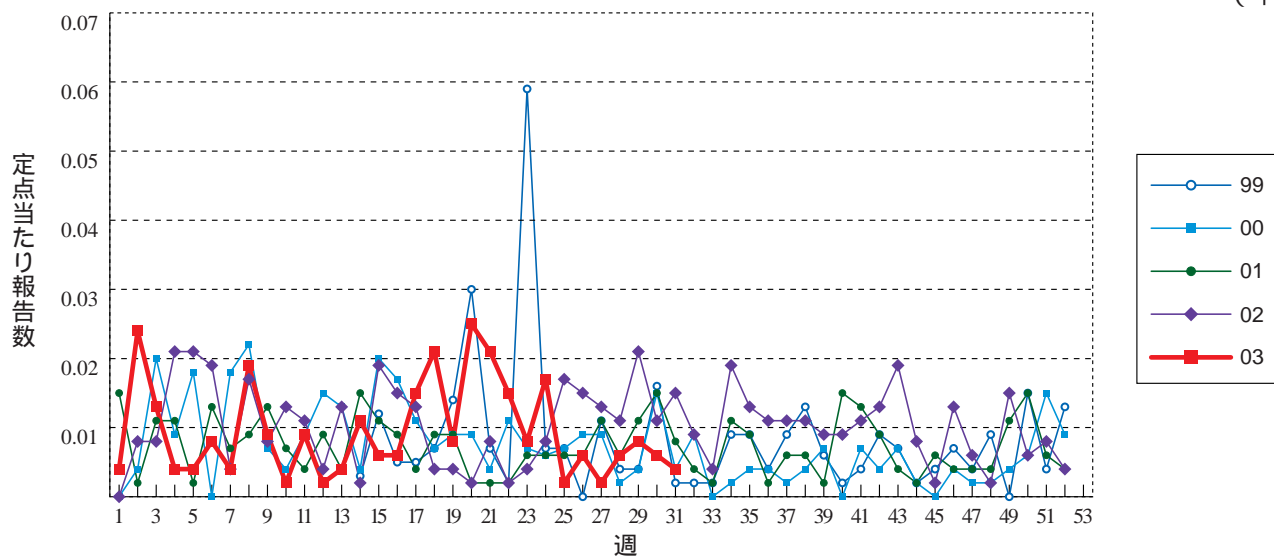
マイコプラズマ肺炎

(年)



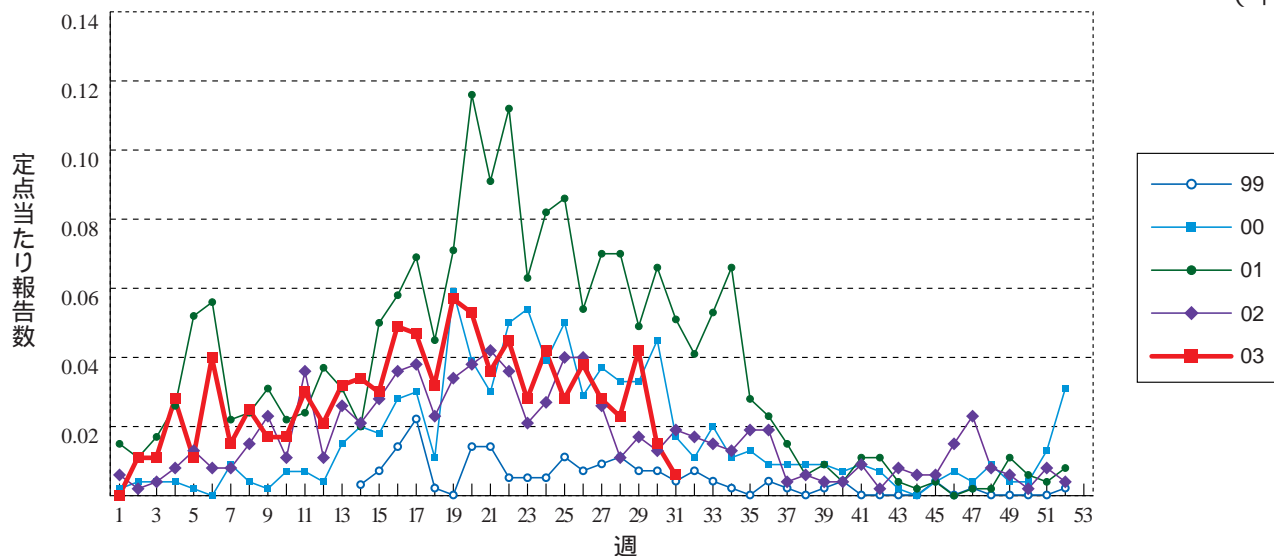
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





31週 of データ

注) 表中の報告数は8月7日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年31週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	7	239	-	35	-	21	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	1	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	54	-	14	-	4	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	2	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	3	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	17	-	2	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年31週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	89	1115	7	300	1	12	-	-	-	33	-	-	-	482
北海道	-	-	-	-	3	23	-	5	1	11	-	-	-	1	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
宮城県	-	-	-	-	5	18	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
秋田県	-	-	-	-	-	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	2	13	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	5	19	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
埼玉県	-	-	-	-	4	35	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17
千葉県	-	-	-	-	2	57	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	3	95	1	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50
神奈川県	-	-	-	-	1	33	-	29	-	-	-	-	-	4	-	-	-	24
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	1	44	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
福井県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	8	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	1	23	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	1	57	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	1	18	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	-	37	-	28	-	1	-	-	-	2	-	-	-	16
三重県	-	-	-	-	1	10	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	1	29	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	16	67	1	46	-	-	-	-	-	8	-	-	-	46
兵庫県	-	-	-	-	15	75	-	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	25
奈良県	-	-	-	-	-	7	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
和歌山県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	1	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	-	60	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
広島県	-	-	-	-	2	16	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	19
山口県	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12
徳島県	-	-	-	-	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	2	13	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
高知県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	2	46	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50
佐賀県	-	-	-	-	9	25	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長崎県	-	-	-	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	2	32	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	18	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
鹿児島県	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	4	18	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年31週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	5	4	71	-	38	4	494	-	1	1	57	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	1	5	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	12	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	23	-	-	-	1	-	-
東京都	-	1	-	-	-	4	2	10	-	3	2	185	-	-	-	23	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	37	-	-	-	10	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	31	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	10	-	-	1	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	-	50	-	-	-	5	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	13	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年31週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	12	-	1	-	-	1	133	1	20	-	16	-	-	-	-	11	298
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	3	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	5	50
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	3	47
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	3	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年31週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	38	1	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	2	4	4	77
北海道	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
埼玉県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
千葉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	7
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	4
新潟県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
石川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
広島県	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年31週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年31週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	13	0.00	1881	0.62	2071	0.68	7250	2.38	3277	1.08	10932	3.59	892	0.29	2584	0.85	42	0.01
北海道	3	0.01	46	0.32	133	0.92	191	1.32	299	2.06	237	1.63	143	0.99	107	0.74	-	-
青森県	-	-	9	0.21	46	1.10	80	1.90	65	1.55	281	6.69	3	0.07	26	0.62	-	-
岩手県	-	-	21	0.55	14	0.37	49	1.29	47	1.24	133	3.50	4	0.11	24	0.63	-	-
宮城県	-	-	12	0.20	44	0.75	137	2.32	85	1.44	164	2.78	57	0.97	74	1.25	2	0.03
秋田県	-	-	16	0.46	21	0.60	75	2.14	22	0.63	85	2.43	-	-	15	0.43	1	0.03
山形県	-	-	14	0.47	45	1.50	82	2.73	50	1.67	54	1.80	3	0.10	32	1.07	-	-
福島県	-	-	8	0.17	30	0.63	94	1.96	52	1.08	142	2.96	3	0.06	46	0.96	-	-
茨城県	1	0.01	8	0.11	43	0.58	146	1.97	81	1.09	290	3.92	20	0.27	40	0.54	-	-
栃木県	-	-	26	0.57	29	0.63	83	1.80	50	1.09	179	3.89	9	0.20	38	0.83	2	0.04
群馬県	-	-	13	0.21	32	0.52	114	1.84	112	1.81	171	2.76	26	0.42	37	0.60	1	0.02
埼玉県	-	-	64	0.40	169	1.05	389	2.42	164	1.02	906	5.63	83	0.52	143	0.89	4	0.02
千葉県	-	-	67	0.52	130	1.00	310	2.38	146	1.12	620	4.77	27	0.21	102	0.78	1	0.01
東京都	-	-	68	0.48	51	0.36	244	1.72	86	0.61	520	3.66	28	0.20	68	0.48	2	0.01
神奈川県	-	-	124	0.60	114	0.55	397	1.92	192	0.93	680	3.29	85	0.41	182	0.88	2	0.01
新潟県	-	-	29	0.48	69	1.15	161	2.68	100	1.67	377	6.28	23	0.38	66	1.10	1	0.02
富山県	-	-	24	0.83	24	0.83	96	3.31	19	0.66	138	4.76	7	0.24	25	0.86	-	-
石川県	-	-	10	0.34	14	0.48	96	3.31	16	0.55	37	1.28	8	0.28	16	0.55	1	0.03
福井県	-	-	16	0.73	20	0.91	107	4.86	31	1.41	51	2.32	7	0.32	20	0.91	-	-
山梨県	2	0.05	6	0.24	6	0.24	34	1.36	15	0.60	36	1.44	3	0.12	10	0.40	-	-
長野県	-	-	105	1.91	54	0.98	113	2.05	105	1.91	372	6.76	31	0.56	53	0.96	2	0.04
岐阜県	-	-	42	0.79	12	0.23	73	1.38	40	0.75	176	3.32	16	0.30	51	0.96	1	0.02
静岡県	-	-	53	0.62	68	0.79	273	3.17	75	0.87	384	4.47	52	0.60	93	1.08	2	0.02
愛知県	-	-	105	0.58	118	0.65	342	1.88	164	0.90	652	3.58	72	0.40	158	0.87	3	0.02
三重県	-	-	37	0.82	38	0.84	182	4.04	48	1.07	63	1.40	29	0.64	58	1.29	-	-
滋賀県	-	-	22	0.69	21	0.66	36	1.13	43	1.34	40	1.25	4	0.13	24	0.75	-	-
京都府	-	-	20	0.26	26	0.34	259	3.41	81	1.07	252	3.32	3	0.04	44	0.58	1	0.01
大阪府	2	0.01	165	0.85	99	0.51	459	2.35	150	0.77	326	1.67	24	0.12	126	0.65	5	0.03
兵庫県	1	0.01	153	1.20	55	0.43	431	3.37	147	1.15	288	2.25	17	0.13	117	0.91	4	0.03
奈良県	-	-	22	0.63	24	0.69	54	1.54	19	0.54	53	1.51	12	0.34	25	0.71	-	-
和歌山県	-	-	9	0.29	15	0.48	78	2.52	17	0.55	25	0.81	1	0.03	21	0.68	1	0.03
鳥取県	1	0.03	15	0.79	27	1.42	110	5.79	30	1.58	101	5.32	-	-	18	0.95	-	-
島根県	-	-	1	0.04	6	0.26	42	1.83	16	0.70	110	4.78	-	-	18	0.78	-	-
岡山県	-	-	13	0.24	11	0.20	130	2.41	38	0.70	262	4.85	2	0.04	35	0.65	-	-
広島県	-	-	51	0.68	48	0.64	180	2.40	128	1.71	616	8.21	25	0.33	69	0.92	1	0.01
山口県	-	-	39	0.80	66	1.35	111	2.27	70	1.43	536	10.94	10	0.20	62	1.27	-	-
徳島県	-	-	17	0.74	9	0.39	65	2.83	17	0.74	33	1.43	3	0.13	20	0.87	1	0.04
香川県	-	-	19	0.59	12	0.38	51	1.59	37	1.16	71	2.22	1	0.03	22	0.69	-	-
愛媛県	-	-	19	0.49	20	0.51	136	3.49	57	1.46	359	9.21	3	0.08	48	1.23	-	-
高知県	-	-	38	1.23	11	0.35	74	2.39	20	0.65	40	1.29	4	0.13	18	0.58	-	-
福岡県	-	-	116	0.97	123	1.03	357	2.98	134	1.12	529	4.41	5	0.04	141	1.18	-	-
佐賀県	-	-	17	0.74	26	1.13	27	1.17	13	0.57	38	1.65	-	-	38	1.65	-	-
長崎県	-	-	7	0.16	13	0.30	75	1.70	16	0.36	93	2.11	-	-	25	0.57	-	-
熊本県	-	-	26	0.53	37	0.76	137	2.80	29	0.59	81	1.65	3	0.06	45	0.92	-	-
大分県	-	-	90	2.50	35	0.97	155	4.31	61	1.69	201	5.58	2	0.06	56	1.56	-	-
宮崎県	-	-	34	0.92	42	1.14	193	5.22	43	1.16	51	1.38	18	0.49	58	1.57	-	-
鹿児島県	-	-	61	1.05	20	0.34	200	3.45	27	0.47	61	1.05	3	0.05	45	0.78	1	0.02
沖縄県	3	0.05	4	0.12	1	0.03	22	0.65	20	0.59	18	0.53	13	0.38	25	0.74	3	0.09

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年31週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	49	0.02	12084	3.96	147	0.05	1878	0.62	28	0.04	794	1.25	-	-	3	0.01	95	0.20
北海道	2	0.01	361	2.49	4	0.03	101	0.70	-	-	26	0.90	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	138	3.29	1	0.02	30	0.71	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	56	1.47	2	0.05	21	0.55	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	534	9.05	7	0.12	46	0.78	3	0.27	6	0.55	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	140	4.00	1	0.03	10	0.29	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	254	8.47	-	-	8	0.27	-	-	15	1.88	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	372	7.75	9	0.19	62	1.29	1	0.08	15	1.25	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	180	2.43	1	0.01	27	0.36	-	-	20	1.25	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	186	4.04	7	0.15	13	0.28	-	-	16	1.33	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	1	0.02	235	3.79	-	-	89	1.44	-	-	33	2.36	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.01	849	5.27	17	0.11	67	0.42	1	0.03	47	1.27	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	3	0.02	550	4.23	6	0.05	58	0.45	-	-	33	1.00	-	-	-	-	-	-
東京都	4	0.03	473	3.33	7	0.05	27	0.19	-	-	24	1.71	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	6	0.03	972	4.70	10	0.05	98	0.47	2	0.05	64	1.52	-	-	-	-	8	0.67
新潟県	-	-	286	4.77	2	0.03	49	0.82	-	-	2	0.22	-	-	-	-	6	0.50
富山県	-	-	220	7.59	-	-	2	0.07	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	107	3.69	-	-	3	0.10	-	-	2	0.29	-	-	-	-	4	0.80
福井県	-	-	74	3.36	3	0.14	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	78	3.12	-	-	2	0.08	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	409	7.44	4	0.07	8	0.15	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	0.02	122	2.30	-	-	12	0.23	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	249	2.90	3	0.03	109	1.27	-	-	16	0.80	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.02	388	2.13	2	0.01	168	0.92	-	-	25	0.71	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.02	221	4.91	-	-	32	0.71	-	-	2	0.17	-	-	-	-	3	0.33
滋賀県	-	-	112	3.50	1	0.03	21	0.66	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	4	0.57
京都府	6	0.08	267	3.51	4	0.05	35	0.46	-	-	23	1.28	-	-	-	-	4	0.80
大阪府	1	0.01	465	2.38	8	0.04	77	0.39	1	0.02	45	0.92	-	-	-	-	17	1.13
兵庫県	2	0.02	700	5.47	-	-	243	1.90	3	0.09	30	0.86	-	-	1	0.08	4	0.33
奈良県	1	0.03	155	4.43	3	0.09	31	0.89	-	-	9	1.00	-	-	-	-	8	1.33
和歌山県	-	-	135	4.35	7	0.23	15	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	118	6.21	-	-	22	1.16	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	94	4.09	-	-	7	0.30	-	-	1	0.33	-	-	1	0.13	1	0.13
岡山県	1	0.02	288	5.33	5	0.09	28	0.52	-	-	55	4.58	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	183	2.44	3	0.04	27	0.36	1	0.05	35	1.75	-	-	-	-	7	0.33
山口県	1	0.02	199	4.06	1	0.02	54	1.10	-	-	16	1.78	-	-	-	-	-	-
徳島県	2	0.09	94	4.09	23	1.00	7	0.30	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.14
香川県	-	-	206	6.44	-	-	9	0.28	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	263	6.74	-	-	6	0.15	-	-	34	4.86	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	41	1.32	-	-	61	1.97	-	-	9	3.00	-	-	1	0.13	8	1.00
福岡県	-	-	503	4.19	1	0.01	53	0.44	2	0.08	38	1.46	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	87	3.78	-	-	19	0.83	-	-	3	0.75	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	88	2.00	-	-	19	0.43	7	0.88	18	2.25	-	-	-	-	2	0.18
熊本県	4	0.08	149	3.04	-	-	7	0.14	5	0.56	45	5.00	-	-	-	-	5	0.33
大分県	-	-	200	5.56	-	-	22	0.61	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	190	5.14	-	-	13	0.35	1	0.25	7	1.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	77	1.33	4	0.07	53	0.91	-	-	16	2.67	-	-	-	-	3	0.25
沖縄県	4	0.12	16	0.47	1	0.03	6	0.18	-	-	10	1.00	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年31週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	90	0.19	2	0.00	3	0.01
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	7	0.35	-	-	-	-
宮城県	2	0.17	-	-	-	-
秋田県	5	0.71	-	-	-	-
山形県	3	0.30	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.20	-	-	-	-
栃木県	3	0.43	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	1	0.08	-	-
東京都	6	0.24	1	0.04	2	0.08
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	5	0.50	-	-	-	-
長野県	2	0.18	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	-	-
愛知県	11	0.85	-	-	-	-
三重県	6	0.67	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.33	-	-	-	-
兵庫県	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	4	0.19	-	-	-	-
山口県	4	0.44	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	2	0.40	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	3	0.50	-	-	-	-
長崎県	2	0.18	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	1	0.07
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第31号 平成15年8月15日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhlw.go.jp/
<厚生労働省>
http://www.forth.go.jp/
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。